

## 世界健康デー(World Health Day)とは？

1946年7月22日に61か国の代表がニューヨークに集まり、世界保健機関憲章の制定を承認する署名が行われ、1948年4月7日その効力が発動されました。それに伴い地球上のすべての人々の健康を増進し、そして保護することを理念とした世界保健機関（World Health Organization：WHO）が創立されました。世界保健機関は国際連合の専門機関としてスイスのジュネーブに本部を置いています。以下に世界保健機関憲章の序文を示します。



# World Health Organization

世界保健機関憲章序文（訳：赤坂 純逸）

**PREFACE OF CONSTITUTION OF THE WORLD HEALTH ORGANIZATION**

**THE STATES PARTIES TO THIS CONSTITUTION DECLARE, IN CONFORMITY WITH THE CHARTER OF THE UNITED NATIONS, THAT THE FOLLOWING PRINCIPLES ARE BASIC TO THE HAPPINESS, HARMONIOUS RELATIONS AND SECURITY OF ALL PEOPLES**

**HEALTH IS A STATE OF COMPLETE PHYSICAL, MENTAL AND SOCIAL WELL-BEING AND NOT MERELY THE ABSENCE OF DISEASE OR INFIRMITY.**

**THE ENJOYMENT OF THE HIGHEST ATTAINABLE STANDARD OF HEALTH IS ONE OF THE FUNDAMENTAL RIGHTS OF EVERY HUMAN BEING WITHOUT DISTINCTION OF RACE, RELIGION, POLITICAL BELIEF, ECONOMIC OR SOCIAL CONDITION.**

**THE HEALTH OF ALL PEOPLES IS FUNDAMENTAL TO THE ATTAINMENT OF PEACE AND SECURITY AND IS DEPENDENT UPON THE FULLEST CO-OPERATION OF INDIVIDUALS AND STATES.**

**THE ACHIEVEMENT OF ANY STATE IN THE PROMOTION AND PROTECTION OF HEALTH IS OF VALUE TO ALL.**

**UNEQUAL DEVELOPMENT IN DIFFERENT COUNTRIES IN THE PROMOTION OF HEALTH AND CONTROL OF DISEASE, ESPECIALLY COMMUNICABLE DISEASE, IS A COMMON DANGER.**

**HEALTHY DEVELOPMENT OF THE CHILD IS OF BASIC IMPORTANCE: THE ABILITY TO LIVE HARMONIOUSLY IN A CHANGING TOTAL ENVIRONMENT IS ESSENTIAL TO SUCH DEVELOPMENT.**

**THE EXTENSION TO ALL PEOPLES OF THE BENEFITS OF MEDICAL, PSYCHOLOGICAL AND RELATED KNOWLEDGE IS ESSENTIAL TO THE FULLEST ATTAINMENT OF HEALTH.**

**INFORMED OPINION AND ACTIVE CO-OPERATION ON THE PART OF THE PUBLIC ARE OF THE UTMOST IMPORTANCE IN THE IMPROVEMENT OF THE HEALTH OF THE PEOPLE.**

**GOVERNMENTS HAVE A RESPONSIBILITY FOR THE HEALTH OF THEIR PEOPLES WHICH CAN BE FULFILLED ONLY BY THE PROVISION OF ADEQUATE HEALTH AND SOCIAL MEASURES.**

**ACCEPTING THESE PRINCIPLES, AND FOR THE PURPOSE OF CO-OPERATION AMONG THEMSELVES AND WITH OTHERS TO PROMOTE AND PROTECT THE HEALTH OF ALL PEOPLES, THE CONTRACTING PARTIES AGREE TO THE PRESENT CONSTITUTION AND HEREBY ESTABLISH THE WORLD HEALTH ORGANIZATION AS A SPECIALIZED AGENCY WITHIN THE TERMS OF ARTICLE 57 OF THE CHARTER OF THE UNITED NATIONS.**

「世界保健機関憲章は国際連合憲章に法（のつと）り、すべての人々が幸福で、良好な関係が保たれ、そして安全が保障されていることを基本的な原則であること宣言したものです。

健康とは単に病気ではないとか、衰弱していないということのみならず、肉体的、精神的、そして社会福祉において完全に満たされた状態であることをさします。

人種、宗教、政治的思想、経済的そして社会的に差別されることなく、すべての人々が達成可能な最高水準の健康を享受することが基本的権利の一つなのです。

世界中のすべての人々が健康であることは平和と安全を達成するための礎であり、個人と国家間の十分な協力のもとでしか達成できません。

どの国でも健康の増進とその保護が達成できれば、すべての国々に価値があることとなります。

それに対し、健康の増進、疾病対策、特に感染症への対策が国家間で異なれば共通する危機性をはらむことになります。

子供らの健（すこ）やかな成長は最も重要なことであり、生活環境の変化に順応できる能力を養うことがこの健やかな成長のために必須となります。

医学、心理学、そしてそれらに関連する知をすべての人々に啓蒙することは完全の健康を達成するためには不可欠なことなのです。

人々の健康を増進するうえで最も重要なことは一般大衆が見識のある主張をし、積極的に協力をすることです。

各国政府は国民の健康を達成するための適切な健康増進対策および社会的政策を行う責任があります。

これらの原則を受け入れ、すべての人々の健康を増進し、そして保護していくために、自国内および諸外国間での協力を推し進めることを目的として締結国は本憲章および国際連合憲章第 57 条に定められた専門機関としての世界保健機関を設立することに同意する。」

## 1. 世界健康デーとは？

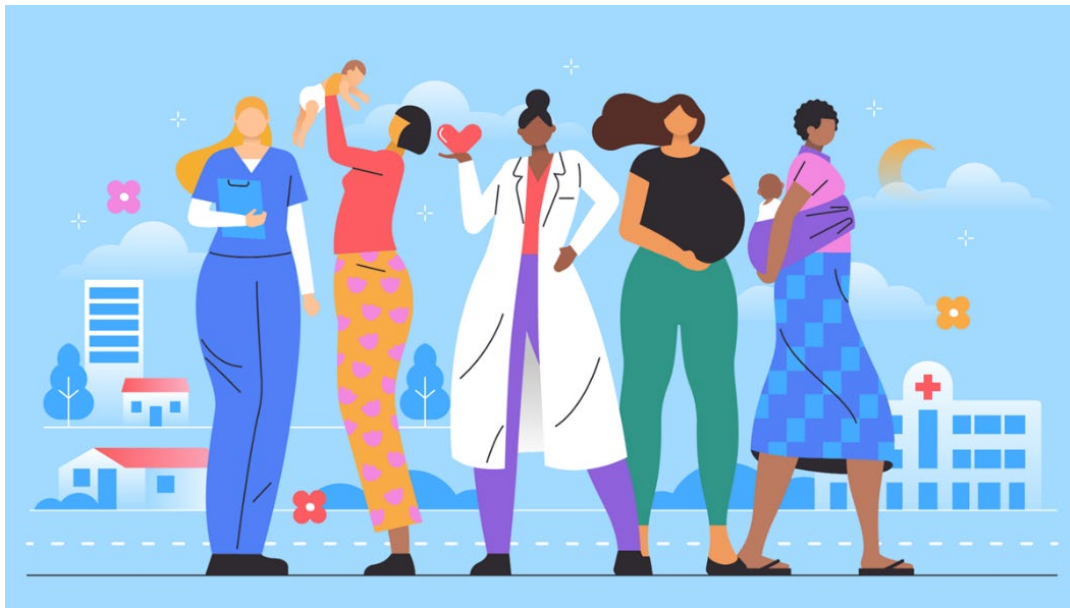
世界保健機関の創設と世界保健機関憲章の発行を記念して 1950 年以降、4 月 7 日を世界健康デーと決めました。それ以来 WHO が毎年、世界健康デーのテーマを発表し、世界中の多くの国々では、4 月 7 日を中心としてさまざまな健康についてのイベントが行われています。日本では 1965 年に日本 WHO 協会が社団法人として認可を受け、その翌年 1966 年 4 月 6 日に World health day の第 1 回イベントが京都新聞ホールで開催されました。この当時は World health day は「世

界保健デー」と翻訳されておりました。2020 年よりコロナウイルス感染症の世界的蔓延により本イベントは中止されておりました。2022 年より日本 WHO 協会が公益社団法人として認可を受け、事務所を大阪に移しました。そして同年オンライン配信で本イベントが再開されました。2025 年より「世界保健デー」を「世界健康デー」と名を変えてイベントが開催されることとなりました。変更の理由を日本 WHO 協会は医療者の為の記念日というニュアンスから市民が主体的に健康に取り組む姿勢を強調したいためと説明しています。



## 2. 2025 年度のテーマは「Healthy beginnings, hopeful future」

2025 年 4 月 7 日の世界健康デーは、妊産婦と新生児の健康に関するキャンペーンを展開する 1 年の幕開けとすることとなりました。テーマは、“Healthy beginnings, hopeful future.”（健やかな始まり、希望のある未来へ）です。このキャンペーンでは、予防可能な妊産婦と新生児の予防の可能な死亡をなくすための取り組みを強化し、女性の長期的な健康と幸福を優先させるように各国政府と保険医療関係者に呼び掛けています。



WHO のホームページより（翻訳：赤坂 純逸）

**The health of mothers and babies is the foundation of healthy families and communities, helping ensure hopeful futures for us all.**

**World Health Day, celebrated on 7 April 2025, will kick off a year-long campaign on maternal and newborn health. The campaign, titled *Healthy beginnings, hopeful futures*, will urge governments and the health community to ramp up efforts to end preventable maternal and newborn deaths, and to prioritize women's longer-term health and well-being.**

**WHO and partners will also share useful information to support healthy pregnancies and births, and better postnatal health.**

### **Helping every woman and baby survive and thrive**

**This task is critical. Tragically, based on currently published estimates, close to 300 000 women lose their life due to pregnancy or childbirth each year, while over 2 million babies die in their first month of life and around 2 million more are stillborn. That's roughly 1 preventable death every 7 seconds.**

**Based on current trends, a staggering 4 out of 5 countries are off track to meet targets for improving maternal survival by 2030. 1 in 3 will fail to meet targets for reducing newborn deaths.**

## **Listening to women and supporting families**

**Women and families everywhere need high quality care that supports them physically and emotionally, before, during and after birth.**

**Health systems must evolve to manage the many health issues that impact maternal and newborn health. These not only include direct obstetric complications but also mental health conditions, noncommunicable diseases and family planning.**

**Additionally, women and families should be supported by laws and policies that safeguard their health and rights.**

*母親と幼子が健康であることは、健全な家族と社会の基盤となり、我々すべてに与えられる希望に満ちた未来への手助けとなるのです。*

WHO は 2025 年 4 月 7 日に世界健康デーを祝し、また、母性と新生児の健康をテーマとした 1 年にわたるキャンペーンを開始しました。そのキャンペーンはテーマを「健やかな始まり、希望のある未来へ」をテーマと定め、各国政府と医療従事者に予防可能な妊産婦死亡と新生児死病の撲滅、女性の長期的な健康と幸福を最優先とすることを推し進めるようにと呼び掛けています。

加えて、WHO とその協力者は良好な妊娠と出産の状態、そして産後の状態をサポートするために有用な情報を共有するようと呼び掛けています。

## **全ての女性と幼子の命を守り、そして幸福であるために**

これらの目的を達成するための援助は重要な問題です。最近の報告では不幸であることに妊娠または出産を原因とした女性の死亡は 1 年間に 300000 人近くに上り、出産後 1 ヶ月以内に死亡した新生児は 200 万人、また、死産も 200 万人以上であったと推定されております。それは大まかにいうと周産期の女性と

子供が 7 秒に 1 人死亡していることになり、その死は予防可能であるということです。

2030 年までに国連の定めた妊産婦死亡率を改善するために示された目標を 5 か国中 4 か国は達成できず、新生児死亡率を改善するために示された目標は 3 か国中 1 か国が達成できないと報告されているのが驚くべき現状なのです。

## 女性の声に耳を傾け、家族に援助を

女性と家族は、居住している場所に関わらず、出産の前・中・後に渡る身体的、精神的援助を行うための良質なケアが必要です。

妊産婦や新生児の健康に関わる多くの健康問題を改善するための取り組みを WHO は行っていく必要があります。それらの健康問題には分娩時合併症のみならず、精神的健康状態、非伝染性疾患や家族計画が含まれます。

さらに、女性と家族の健康と権利は、法律と政策により守られるべきなのです。

\* 翻訳内容に間違いがあった場合にはご容赦いただければ幸いです。

東京医科大学八王子医療センター  
心臓血管外科  
赤坂 純逸